

(confidential)

第6回 株式会社ジーンクエスト 倫理審査委員会 議事録

日時：平成27年7月3日

開会：午後13時10分

閉会：午後14時30分

会場：東京大学 フードサイエンス棟4階 セミナー室

出席者（敬称略）

委員会 赤羽根秀宣（委員長）、加藤久典、菅野仁、後藤成海、宮川剛、森のえみ

事務局 岡本暁彦

オブザーバー 高橋祥子、斉藤憲司

委員長は、本会が倫理審査委員会規程第5条2項に基づき有効に成立した旨を告げ、開会を宣し、委員会にて提出議案について審議した結果は下記の通りとする。

【共有事項】

- ①ヤフー株式会社井上さんより、ユーザーオプトアウトの説明が行われた。
- ②7月1日より今西規先生（東海大学）との研究委託契約開始したこととその概要を共有した。
- ③今後倫理審査委員会で共同研究の審査依頼をする可能性がある研究者や研究機関情報を共有した。
- ④遺伝子解析サービスの同意書内容修正改定に関して。

赤羽根委員長より、同意書の内容は以前の倫理審査委員会で審議を経て決定しているため、修正内容次第では審査をやり直すことになるため、共有事項ではなく議案事項として考えたい、との説明があった。今回共有事項ではなく議案事項とした。議事①を参照。

- ⑤遺伝子解析サービスの説明書修正予定に関して。

CPIGIで協議している内容に合わせて、今後説明書の内容を変更する予定があることを共有した。

- ⑥厚生労働省の遺伝子解析サービスに対する動向について説明をした。倫理審査委員会終了後に高橋からメールで報告書を共有した。

【議事】

- ①遺伝子解析サービスの同意書内容修正改定に関して審議した。お客様の中には同意書のチェックボックスにチェック入れないまま返送される方がおり、運用上の手間が発生していることを説明した。

当該事項に関する主な意見：

- ・チェックボックスの同意文章は重要であると考えられるため記載してある。
- ・文章をそのまま残してチェックボックスだけを削除するのであれば良い。

(confidential)

審議結果：

- ・現在の同意書から説明文章をそのまま残して、チェックボックスのみを削除するのであれば、委員会としては問題ないと結論を出した。

②他機関と共同研究を行う場合の、倫理審査委員会の開催順序に関して、現在のフローが適切かどうか審議した。

審議結果：

- ・主体研究機関がジーンクエストである場合は、現在のフローのとおり行うことと結論づけた。

③現在のメール迅速審査の方法が適切かどうか審議した。

当該議案に関する主な意見：

- ・委員長に業務が集中するので、委員長の負担を減らすようにした方がいい。
- ・委員長の判断で、各委員に案件を割り振る。
- ・割り振られた各委員が委員長に内容を差し戻して、委員長が迅速承認にするのか、それとも倫理審査委員会で審議するのかを定める。

審議結果：

- ・ジーンクエスト側から委員長宛にメール審査依頼の連絡が来た場合、最初に委員長が内容を判断してその内容対応が得意な委員に案件を割り振る。担当した委員は内容を確認し、意見をつけて委員長に差し戻す。委員長は委員から出た意見をもとに迅速審査にするのか、それとも倫理審査委員会を開催して審議するのかを定める。

以上の議論をもって、本「第6回倫理審査委員会」を閉会とした。

以上

議事録作成日： 2015年 7月 9日